

穂高PTAだより

発行日 令和5年9月29日

穂別高校PTA研修委員会



「少数精鋭」

PTA研修委員長 伊藤 恵美

新型コロナウイルスが5類に移行され、規制が緩和された中で第70回穂高祭が開催されました。

連日の猛暑の中、準備は本当に大変だったと思います。皆さんの頑張りを反映してか、2日間共に天候にも恵まれた事も嬉しく思います。

1日目の学校ステージでのパフォーマンスも、2日目の流送まつりでのパフォーマンスも、生徒の皆さん1人1人が心から楽しんでいる様子が伝わってきて、観ている方も一緒に口ずさんだり踊ったりしたくなる様な素晴らしいものでした。

1年生の皆さんからは初々しさ、2年生の皆さんからは中間学年としての力強さが、3年生の皆さんからは3年間の集大成をと言わんばかりの逞しさを感じました。両日通じて生徒と先生方の仲の良さを感じる場面も多々あり、信頼関係が築けているのだと安心しました。

他校に比べると少数小規模であり、出来る事も限られてしまい悔しい思いをした事もあるだろうと思います。しかし、穂別高校の生徒の皆さんは、「少数精鋭」だと胸を張って言える人材の集まりです。1人1人が責任感を持ち、成し遂げた穂高祭です。今後の学校生活も、誇りを胸にキラキラ輝いてください。

最後になりますが、保護者の皆様、教職員の皆様のご協力により穂高祭を無事に終える事ができ、感謝申し上げます。今後とも、子ども達の成長を見守りながら、学校生活やPTA活動へのご協力を宜しくお願い致します。

・「少数精鋭」	PTA研修委員長 伊藤 恵美	表紙
・「閉塞感から戻りつつある日常」	PTA会長 鎌田 政博	2ページ
・「対話で学ぶ穂高魂」	校長 岩瀬 均	2ページ
・学年より	各学年担任	3ページ
・令和5年度 PTA事業		3ページ
・令和5年度 PTA役員		3ページ
・活躍する穂高生		4ページ
・転入職員紹介		4ページ
・学校祭でのご協力ありがとうございました		4ページ
・PTA研修委員		4ページ

閉塞感から戻りつつある日常

PTA会長 鎌田 政博



山本会長の後任として、令和5年度より、PTA会長として、務めさせていただいております、鎌田です。

PTA活動にご理解とご協力いただき誠に感謝申し上げます。

本年5月よりコロナウイルスの対応も2類から5類に移行し、学校活動も少しずつ通常の活動に戻りつつあります。

ようやくマスクの使用が緩和され、生徒どうしの間隔も制限がなくなり、関係者のみの観覧ではあります。が、ほぼ通常通りの穂高祭を開催する事ができ、各クラスのパフォーマンスもマスク無しで行われ、明るく楽しい表情を見ることができ、さまざまな活動の中で練習されていた成果が充分に発揮され、感動しました。いままで閉塞感の続いていた学校活動でしたが、生徒からの希望により、本年は花火大会、役員さんにお手伝いいただき、学校全体での食事をを行う事ができ、本当に楽しそうな笑い声や笑顔を見た時、これがあたり前の日常だなあと一いつつ、子ども達の失われた日々は戻ってきませんが、この試練を乗り越えた精神力、忍耐力はきつと、これからの人生において、何事にも挑戦し、決してあきらめる事なく、道を切り開いて行ける力となっていることと、信じております。

そんな子ども達の活動の為に、先生方、保護者、地域の皆様と協力し、支えて行ければと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

「対話で学ぶ穂高魂」

校長 岩瀬 均



令和も5年半ばを過ぎ、時の流れはいつも足早だと実感するも、学校は地に足をつけ、暦を確かめながら着実な前進をせねばと、全教職員、緊張感をもって取り組んでおります。

PTAの皆様には、日頃より本校の教育活動に対しご理解いただき、ありがとうございます。5月には、山本直子前会長から鎌田政博会長に引き継がれ、役員も改選され新たな体制で進められることとなりました。4月の入学式には前会長から祝辞をいただき、新入生12名は穂高生としての自信をもってスタートが切れたことと大変感謝いたしております。その後のPTA総会も終え、念願であった新旧役員引継ぎも盛会の中、納めていただきました。

今年の学校祭「穂高祭」では、子どもたちの学年パフォーマンス披露に多くのPTAの皆様が校舎に足を運んでいただいたこと、新役員の皆様にも生徒の夕食準備や配布など、夜遅くまでご協力いただき生徒の思い出づくりに協賛頂けたこと、全てにおいて心より感謝を申し上げます。さて、近年、未来をたくましく生きるために、「対話」の力が求められています。対話には、自分の考えや相手の考え方をシェアしながら、新たな考え方を模索し学びを共にしながら成し遂げるなど、一連の流れにおいて発信と受信の経験値を高めながら目的達成をする大切さを説いています。以前の様な一方的に与える知識からの到達ではなく、自ら学び納得解を得ながら創造するプロセスの獲得がより重要と考えられます。

今回、新型コロナウイルス感染症も第5類に属し、私たちはマスクなしで気軽に外出ができる自由と、人が集まる所や病院等でのマスク着用など、「自由と心がけ」の二通りの選択を主体的に判断しながら行動することを得得しております。蓄えた知識と柔軟な発想を駆使して、必ずしも正解とは断言できない場面でも、各個人が自信を持って判断し、行動を取るという素晴らしい感覚でもあり、今後大切な能力のひとつだと考えます。

学校と家庭で協力し、子どもたちとの「対話」を積極的に取り入れ、成長を楽しみながら前進することが、個性豊かな子どもたち、活発で豊かな穂高魂に繋がるといふ思いが込み上げてまいります。

結びになりますが、今後変化を要する学校事情でもありますが、PTAの皆様におかれましては、引き続き本校教育活動への深いご理解をお願いするとともに、学校と家庭とが手を取り合いながら成長を遂げる、「対話で学ぶ穂高魂」へのご協力とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

1 学年

小柳雄彦
(数学情報科:副担任)折原拓真
(地歴公民科:担任)黒原有香
(養護教諭:学年付)

「通 用」

1年生が4月10日に入学し、約半年が過ぎようとしています。日々、成長を重ねていく1年生の姿を見ると、遅く感じるとともに高校生の可能性を考えさせられます。

さて、担任として1学年の皆さんに伝えていきたいことは、「社会で通用する」大人になつてもらいたいということなんです。ただ、高校卒業をし、大人になるのではなく、社会に出るからには「通用」することが大切だと思います。そこには、挨拶・身だしなみ・礼儀・スキルなど色々あると思いますが、3年間かけてじっくりと身につけていきましょう。

1学年団の先生方は、みんなの可能性を毎日信じ続けていますよ。頑張れ!! 1学年!!

1年A組担任 折原 拓真

2 学年

高橋一嘉
(国語科:学年付)長岡弥生
(保健体育科:担任)北森康義
(音楽科:副担任)大関あすか
(実習助手:学年付)

「2 A 出航」

縁あつて4月から2Aという手漕ぎボートに乗り合わせた私たち(生徒7名、教員4名)。個性豊かで良い意味でクセが強く、日常を興味深く面白いものにしてくれる愛すべき人たち。出会った最初の日も今も変わらないことがひとつ。それはみんながとても優しい心の持ち主だということ。高校生でいられる時間も半分が過ぎ、この先は進路実現に向けてそれぞれが自分で舵を切り、自分の力でオールを漕いでいくことになる。勇気と笑顔を携え、時に助け合い支え合いながら、どんな荒波にも果敢に挑み軽やかに越えていってけることを期待している。

2年A組担任 長岡 弥生

3 学年

印部拓人
(理科:副担任)飛騨勇佑
(英語科:担任)石井京子
(家庭科:学年付)

「2本の脚で立ち続けられる継続力」

「自立は自律によって為るものです。周りの世界や他者に不平不満を叫ぶよりも、2本の脚で力強く立てる人物になることが価値があります。」昨年のPTA便りに橋本先生が寄せた原稿です。昨年より自分の脚で立ち続けられる力はつきましたか? 来年は立ち続けられる忍耐力・継続力が求められます。自分の進路は自分で決めたものです。成功も失敗も自分で背負うもの、残りの高校生活を後悔のないものにするため「自立と自律」の完成を目指す半年にしてください。ひとりひとりの人生の幸せを3人目の担任として祈っています。

3年A組担任 飛騨 勇佑

令和5年度

PTA役員

会 長	鎌田 政博
副会長	伊藤 恵美
	高橋 知子
	横山 貴仁
監 査	渡辺 淑枝
	後藤 幸恵

令和5年度 PTA事業

4月10日(月)	入学式
4月27日(木)	令和5年度むかわ町PTA連合会定期総会
4月29日(土)	授業参観・PTA総会
5月19日(金)	第1回PTA役員会・懇親会
5月27日(土)	令和5年度北海道高等学校PTA連合会胆振支部総会(書面会議)
6月9日(金)	北海道高等学校PTA連合会後志大会(小樽市)
~10日(土)	
7月21日(金)	穂高祭(第1日目)夕食提供
7月22日(土)	穂高祭(第2日目)流送まつりとタイアップ
9月29日(金)	PTAだより発行

活躍する穂高生

大会結果掲示板

弓道部

【第59回室蘭支部高等学校弓道競技選手権大会 兼 第69回全道高等学校体育大会弓道競技大会室蘭支部予選】

女子個人戦

2年 西村 心優

予選敗退

2年 高橋 愛

予選敗退

1年 白石 風香

予選敗退

女子団体

予選敗退

バドミントン部

【第75回北海道高等学校体育連盟室蘭支部バドミントン選手権大会】

男子シングルス

2年 榎本 和真

1回戦敗退

2年 平賀 忍

1回戦敗退

女子シングルス

1年 林 こはる

1回戦敗退

放送局

【北海道高等学校文化連盟第47回全道高等学校放送発表大会 兼 第70回NHK杯北海道大会 苦小牧地区大会】

朗読部門

3年 鎌田 怜那

7位入賞

3年 滝 心和

予選敗退

アナウンス部門

3年 藤井 美有

予選敗退

【北海道高等学校文化連盟第47回全道高等学校放送発表大会 兼 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会】

朗読部門

3年 鎌田 怜那

出場

転入職員紹介

教頭 塚西 圭
前任校 平取高校



朝食にはべつメロン半玉、夕食には穂別産トウモロコシに穂別産枝豆に穂別産…と贅沢な夏を過ごさせていただいております。今年度はコロナ禍も明け、4年ぶりにPTA懇親会を開催することができ、再びPTA活動活性化へのRestartの年となりました。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

教諭 長岡 弥生
前任校 苫前商業高校



2学年担任、保健体育を担当しております。長岡弥生と申します。穂別の美味しい野菜や果物のお陰で暑い夏を乗り切り、次は冬に聞きしに勝る急な上り坂。ゆつくり安全運転で馴染んでいければと思います。宜しくよろしくお願いいたします。

教諭 高橋 一嘉
前任校 札幌国際情報高校



4月から再任用として赴任しました国語科の高橋一嘉です。4ヶ月が経つてようやくこの土地や学校の環境に馴染んできました。この土地を自分の心象世界の理想郷となるような過ごし方を追求していこうと思っています。

養護教諭 黒原 有香
前任校 三笠高校



三笠高校から参りました黒原有香と申します。6年振りに穂別高校に戻り、再び思い出しております。これからも生徒の成長を近くで見守り、応援し続けたいと思っております。よろしくお願い致します。

事務長 松山 和治
前任校 釧路東高校



道東の釧路より赴任した事務長の松山と申します。胆振は3年前の伊達に続き2度目ですが、道東に比べ温暖な気候を感じられます。再任用4年目となりますが、穂別高校のため努力する所存です。

学校祭での協力 ありがとうございました。

今年の学校祭で保護者の皆様には、一日目の夕食のお手伝いや生徒の送迎などにご協力いただき誠にありがとうございました。

今年の学校祭のテーマは「Power of alignment!」でした。このテーマには、「組織の力」という意味が込められており、今の社会を象徴したようなテーマでした。その名の通り、生徒たちは、生徒会やHR委員長を中心に、チームワークを大切に一生懸命準備期間や学校祭当日を過ごしていました。

一日目は、パフォーマンスや生徒会企画、そして、新たな試みである花火大会などで大いに盛り上がる事ができました。各係で様々な工夫をし、全校生徒が大変楽しんでいた様子がうかがえました。

二日目は、むかわ町穂別流送まつりとのタイアップで実施し、クラスパフォーマンスの披露を行いました。大勢の町民の方々に前に大舞台で素晴らしいパフォーマンスを行い、町内からの多くのお客様に温かい拍手をいただき、本校生徒にとつて貴重な経験となりました。

保護者の皆様には、ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございました。今後とも、本校の教育活動にご協力・ご支援の程、宜しく申し上げます。

編集 PTA研修委員

委員長 伊藤 恵美
委員 上杉 貴子